

平成二十八年年度

富山大学人文学部 特別入試

推薦入試

## 小論文

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この表紙を開かないこと。
- 2 試験問題は2枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚である。  
試験開始の合図があつてから確認すること。  
なお、試験問題に文字などの印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れなどがあつた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 3 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を算用数字で記入すること。  
氏名を書いてはいけない。
- 4 解答はすべて指定された解答用紙に記入すること。  
指定された解答用紙以外に記入した解答は、評価(採点)の対象としない。
- 5 配布された試験問題および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ること。

実施年月日
27.11.25
富山大学

次の文章は、パスカル『パンセ』の断章「訳例」とそれに付した「解説」です。これを読んで以下の問いに答えなさい。

〔訳例〕

〈私〉とは何か

ある人が窓辺に身を寄せて、道行く人を眺めている。もし私がそこを通りかかったとして、彼は私を見るために、そこにいると言えるか。否、彼は私のことを取り立てて考えてはいないのだから。それなら、誰かをその美しさのために愛する人は、相手を愛していることになるのか。否、天然痘（注一）にかかれば、命は失わなくても美貌は失われるが、そうなれば、彼もはやその人を愛さないだろうから。

そして、もし私の判断力や記憶力が優れているからあなたが好きだといわれたら、この私はたしかに愛されているのか。否、私は自分を失うことなしに、そんな性質を失うことができるのだから。それでは、この〈私〉が身体のうちにも魂のうちにもないとしたら、それはどこにあるのか。そして身体にせよ魂にせよ、その性質のためでなくて、どうして愛することができるのか。変転きわまりない性質が〈私〉を形作ることでできはしないのに。そもそもある人の魂の实质を抽象的に、そこにどんな性質があるかと愛するなどということがあるだろうか。それは不可能だし、それ以前に不正だろう。だから人が愛されることは決してない、愛されるのは性質だけだ。（…）

（パスカル『パンセ』断章三二三）

〔解説〕

〈私〉とは何かという問いは、古今の偉大な哲学者にも私探しを行う現代の若者にも共通する永遠の課題です。パスカルの近くでいえば、自己の描写を自著『エッセー』の主題としたモリスのモンテーニュも、コギト（「我思う、ゆえに我あり」）によって、考える実体としての〈私〉を発見し、それを自らの哲学の出発点に据えたデカルトも、この問題に一貫して強い関心を注ぎ続けました。

その中であって、この文章の特徴は、〈私〉を愛との関連において、しかも誰かから愛されるという受動的な状況で考察していることです。デカルトのコギトであれば、〈私〉は認識の主体です。モンテーニュの企ては、〈私〉を見るものと見られるものに分裂させて、観察と反省を通じて、自己の認識に至ることを目指します。それに対してパスカルは、愛の対象となる〈私〉にまなざしを注いで、それが何であるか、それは愛されるだけの価値を備えているかという問いを發します。

ご覧のとおり、彼の主張は極端です。こんなことをいわれたら立つ瀬がありません。何しろ〈私〉は身体においても精神においても変幻きわまりない性質の束にすぎず、愛されるだけの価値がない、いやそれ以前に実体を備えていないというのですから。なるほど誰かを愛するという立場に立って、愛の対象の変転に目を凝らしているかぎり、そうとしか言いようがありません。しかし、愛してもらおう〈私〉の立場に身を置いてみると、〈私〉がどのような変化を遂げようとも、愛してもらいたいという欲望だけは一貫しています。どうやら〈私〉を〈私〉としているのは、この愛されたいという欲望らしいのです。〈私〉は、自分が何であろうと、どのような状況であろうと、人格として愛してもらいたい。これは公正の観点か

らえば法外な欲望です。だからこそ、魂の実質があるとして、それを抽象的に愛するのが不正だといわれているのです。

しかし、それなら真善美といった性質を離れて、誰かを愛することは不可能なのでしょう。パスカルはここでも自らの信仰は隠して、いわば背理法（注二）によって議論を進めています。もしも愛が願わしい価値に対する応答に尽きるとしたら、人を愛することはできません。しかし価値の評価に応じて注がれるのではなく、注がれることによって対象の価値を創出する愛がある。イエス・キリストの人間に対する愛はまさにそのようなものであり、いかなる永続的な価値も奪われている人間をまず愛することを通じて神が人間を愛に誘っている。これがパスカルの確信でした。

（塩川徹也『発見術としての学問——モンテーニュ、デカルト、パスカル』岩波書店、二〇一〇年 一部改変）

（注一）天然痘… ウイルスによって起こる急性感染症。高い熱と同時にほっしん（発疹）が出来て、なおったあとにあばたが残る。

（注二）背理法… ある命題が真であることを証明する際に、その命題が偽であると仮定すれば矛盾が生じることを示すことによる方法。

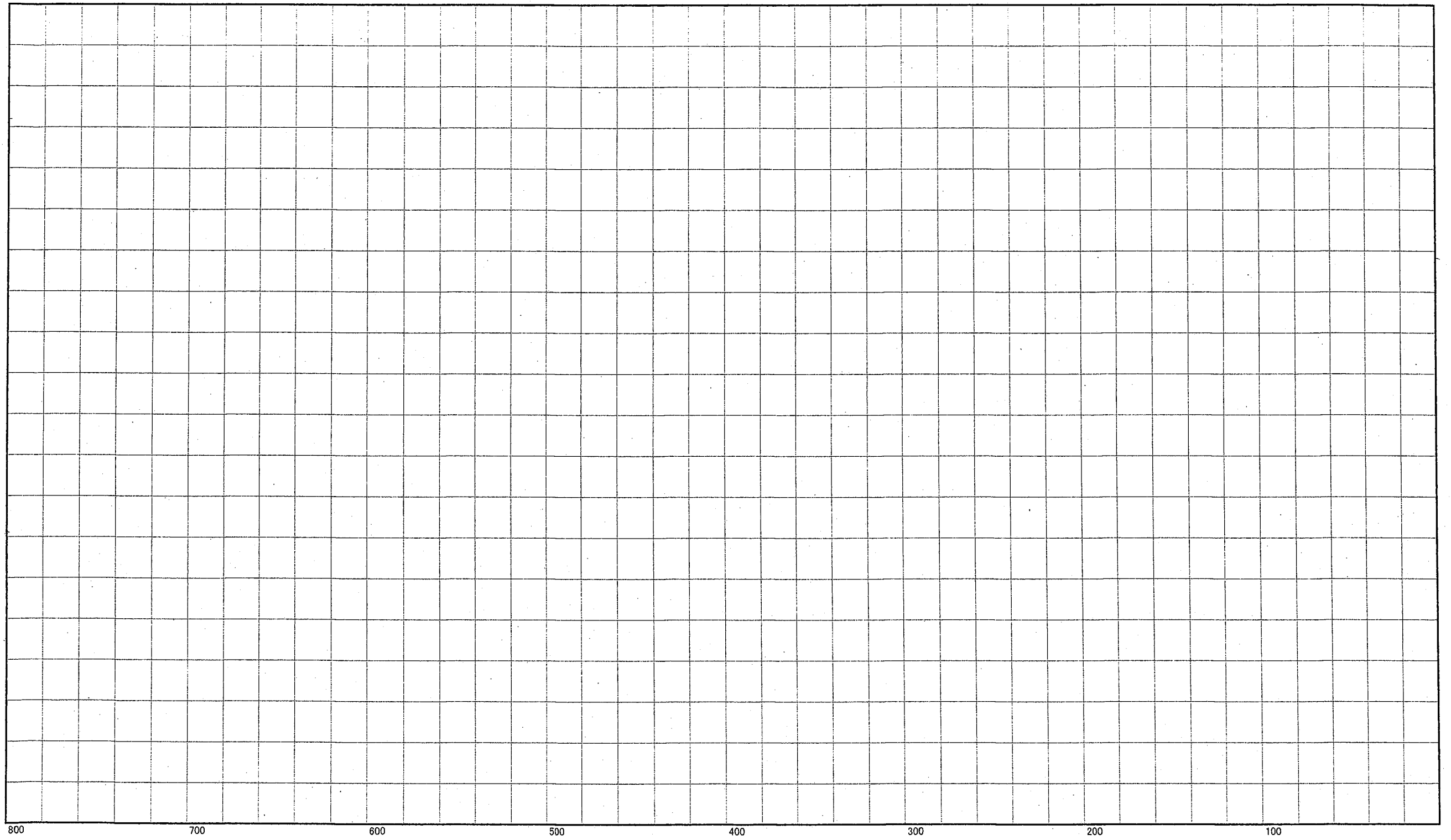
問一 傍線「もしも愛が願わしい価値に対する応答に尽きるとしたら、人を愛することはできません」とはどのような意味か、二〇〇字程度でまとめなさい。

問二 〈私〉と愛との関係についてあなたはどうか考えますか。この文章をふまえて、八〇〇字以内で述べなさい。





下書き用紙(これは解答用紙ではありません。)



800

700

600

500

400

300

200

100

下書き用紙(これは解答用紙ではありません。)

